

ANAN ROTARY Club

Monthly Report



2010
2

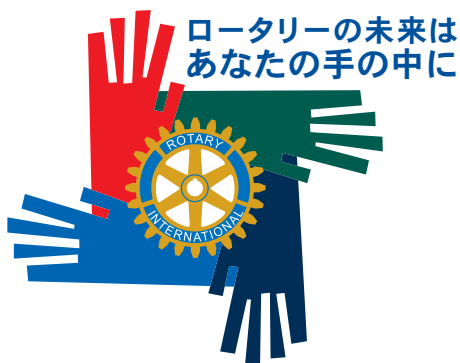
国際ロータリー第2670地区
阿南ロータリークラブ 会報



寒風の中 みんなの声援に後押しされて…

2009-2010

第22回 一輪車大会 2010.1.9



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

contents

- 一輪車大会 …………… 2
- クリスマス家族会 …………… 3
- 2009-2010 前期家庭集会 …… 4~7
- 県南5クラブ新年賀詞交換会 … 8
- 2009-2010 今後の予定 …… 8
- 2009 親睦旅行 …………… 9
- 理事会報告 …………… 9~10
- ニコニコ委員会 …………… 10~11
- 谷 敬二氏 黄綬褒章受章 …… 12
- 阿南RC俳句会 …………… 12

第22回 一輪車大会

2010. 1. 9

in 阿南工業高校グラウンド

新世代活動委員長 原田 晃



一輪車大会成績表

今年も例年通り盛大に一輪車大会が開催されました。当初、富岡東校の中学入試と日にちが同じとなり6年生の参加が少ないということと新型インフルエンザの影響は大丈夫か心配でしたが、結局1月9日土曜日の大会日には19校から約230名のかわいい参加者が集まってくれました。当日は風もなく小春日和の中、熱戦が繰り広げられました。

学校対抗リレーの優勝は吉井小学校Aチーム、準優勝は見能林小学校Aチーム、3位は桑野小学校Aチームでした。個人戦では、低学年100m走は宝田小学校生が、中学年200m走は伊島小学校生が、高学年障害走は見能林小学校生が優勝しました。

今回もトラブルなく無事大会を終了することができました。皆様のご協力、感謝いたします。また来年も良い大会になりますように！

◆ 学校対抗リレー

優勝 吉井小学校Aチーム

準優勝 見能林小学校Aチーム

3位 桑野小学校Aチーム

◆ 低学年100m走

優勝 仁木 優花 (宝田小学校)

準優勝 近藤 大空 (吉井小学校)

3位 鎌田 珠希 (桑野小学校)

◆ 中学年200m走

優勝 斎藤 優花 (伊島小学校)

準優勝 片山 朱里 (長生小学校)

3位 片山 紗英 (長生小学校)

◆ 高学年障害走

優勝 吉積佳乃子 (見能林小学校)

準優勝 濱垣 遥 (見能林小学校)

3位 村田津耶子 (中野島小学校)





2009 クリスマス家族会

親睦委員会 植田 忠生

12月15日(火) 午後6時30分からクリスマス家族例会が厳かに開会された。会員及び会員家族、インターアクトの皆さんを含め総勢112名のご参加をいただきました。

短めの例会にピリオド(点鐘)が打たれ、谷敬二会員の黄綬褒章受章のお祝い会に移った。兼松会長からお祝いの挨拶と花束の贈呈があり、これを受け“謝辞”があった。

クリスマス会では、兼松会長の流暢な挨拶につづき、守野幹事から会員、会員家族、招待者の紹介があった。

パーティー開会の発声は、近く埼玉へ転居される笹野名誉会員の88歳とは思えない気合いのこもったイヤサカの音頭で始まった。

アトラクションでは、魅惑のリズムに身を委ねたY会員の奥様によるルンバに酔わされた。

親睦委員大津会員扮するサンタのおじさんから、子供たちへプレゼントが贈られ大喜びだった。ビンゴゲーム、カラオケで盛り上がったパーティーは2時間を経過していた。

歓談の後、参加者全員で「手に手つないで」を唱和し、散会した。

皆様のご参加、ご協力誠にありがとうございました。



▲ IACの皆さん



▲ サンタさんから子供たちへプレゼント

2009-2010 前期家庭集会

テーマ:「共に楽しむ仲間を増やすために」

11/10
(火)

- 開始時間 18:00～
- 会場 兼松会長宅
- 出席者 兼松会員・品川会員・久米会員・鳥海会員・守野会員

「今年度中に会員数50名は達成したい。」という目標をまず兼松会長、鳥海増強委員長が話をされました。その後会員数が問題ではない、あせらずじっくりと例会を充実させる、まず会員自身が地元阿南を好きになるようにクラブを好きになることが大切、旅行など行事を充実させてみんなで楽しい思い出をつくる、など意見があり最終的には「自信を持ってクラブを活性化していこうではないか。」で意見がまとまりました。

当日は兼松会長、奥様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



11/11
(水)

- 開始時間 18:00～
- 会場 楠原会員宅
- 出席者 楠原会員・清原会員・門田会員・小松会員・三谷会員・日下会員・森岡会員・杉森会員

結論を求める議論ではなく、オフレコ発言も多数あって楽しく有意義なものでした。

《会員増強》

- ・単純に数が増えれば良いというものではない。質を伴った会員構成が肝要。
- ・夜間例会等、集まる時間帯を柔軟に工夫すれば、入会しやすいのではないかな。
- ・家庭集会についても、酒食の持ち寄り等、もっとホスト会員宅の負担を軽減し、気軽に参加できるような工夫が必要。

《奉仕について》

- ・「金を出す」という奉仕でなく、「自ら行動して奉仕する」ことが大切。当RCは、他RCに比して金による奉仕のケースが多い。

《どう変えて行くか》

- ・RCの基本を変える必要はないが、時代状況に合わせた、若い世代も共感できるような活動が求められている。
- ・当RCは実態ベースの出席率で7割以上。これは評価できるもの。
- ・車椅子の寄付等、着実に実績を積んできた。身近で出来ることを継続するのも大切。
- ・当RCの活動は、ルールをあまりに重視しすぎて、活動していく上で負担に感ずることがある。「遊び心」が必要ではないか。
- ・良いメンバーが会員になっていけば、人も集まって来る。「私も入りたい」と思うような会員構成を維持していくことも肝要。



《追記》

- ・楠原邸では奥様の美味しい手料理等、暖かく迎えて頂き、8時までの予定が2度の延長で結局9時過ぎまで、大変なご迷惑をおかけしました。この間の酒類の消費量は、や々行き過ぎ。楠原会員、特に奥様に、あらためて感謝とお詫びを申し上げます。

11/11
(水)

●開始時間 18:00～ ●会場 藤井会員宅

●出席者 藤井会員・古川会員・井村会員・藤崎会員・石澤会員・神原会員・庄野会員

俳句、真向法、ゴルフ等趣味で集まる知人の中から会員候補者を推薦。
仕事に関して現役の人は忙しさがネックになり、リタイアしている人にとっては会費が馬鹿にならない。

F会員：会費を格安にしたらどうか？

会費の40%が食費であるが、これを月一回だけ粗食にただけでもクレームが出た。
会報誌も以前のように手作りになれば多少浮くかも知れない。

F会員：本来、阿南ロータリーのサイトがあるのだからペーパーレスにして半年或いは一年ごとにCDか情報量が多ければDVDにまとめたものを事務局、その時の会長、幹事が保存すればよい。どうしても紙に残したい場合はホームページをそのまま印刷すれば済む。

S会員：今は不況だから会費を半分くらいにしたらどうか？景気が良くなれば元に戻せばよい。会費を固定する必要はないと考える。

I会員：年間1040万の予算のうち、国際ロータリーへの上納金が52万、地区ロータリーへ98万、分区へ14万双方併せて112万、委員会活動209万、クラブ活動費95万、食費400万、その他64万、事務費30万、人件費60万。

特にコメントは差し控えたいと思います。が、上納金が結構掛かっています。

会長、幹事を始め、役員も席を固定しないで各テーブルに赴き会話を楽しくし会員間の意思の疎通を図るべきである。

会長、幹事は出来るだけ早く出てきて例会の効率化を図って欲しい。

K会員：欠席者の食事が無駄になるのを何とか出来ないものか。

阿南中央は格安の会費で会員を集めたとか。

F会員：年長者を敬うという精神をもっと徹底しよう。

また、お互いを認め合い、信頼するということの第一歩として「挨拶」をきちんと励行しよう。会長、幹事が先頭に立つて行うことを御願いたい。

K会員：新築の木の香芳し蜜柑むく

というわけで木の香も芳しい藤井会員の豪邸で家庭集会を開いて頂き、御馳走が食べきれず、家に持ち帰り家族の飢えを凌がして頂きました。有り難う御座いました。



11/12
(木)

●開始時間 12:30～ ●会場 六車会員事業所（コートベール徳島GC）

●出席者 六車会員・土居会員・大久保会員・峰会員・中島会員

テーマについて仲間を増やす事は、新入会員を増やすためと、現在の会員間で交流のあまりなかった会員との親睦を図ると言う観点から意見を交換しました。

1. 【親睦行事等について】

旅行・ゴルフ等各行事の更なる活性化を図る。親睦行事の参加者が固定されている。

2. プログラムの充実化を更に行う。

3. 【卓話について】

部外者卓話を増やして専門的な知識を得るため内容の充実化をする。
部外者卓話30分では短いのでは。卓話時間の厳守。卓話中は私語、居眠りはしない。

4. 【新入会員獲得について及びロータリークラブ活動のPR等について】

若い人がロータリーについて興味を持っていない。いかにPRするか。
オブザーバー例会だけでなく各行事に誘ってみる。
新入会員の退会を防ぐために入会後の更なるフォローを行う。
退会した会員の退会原因をしっかりと把握し、今後に生かす。
阿南ロータリークラブホームページを各会員企業と相互にリンクをする。
年に1回、一般向けに講演会を行う。大規模でなくても良い。

5. 【家庭集会について】

家庭集会で出た意見を理事会で反映させて欲しい。
家庭集会の参加人員をバランス良く配置するよう最終調整が必要。
家庭集会の担当する家庭の数を減らす。開催は年1回で良いのでは。



6. 【その他】

守るべき伝統は守り、変えるべきものは変える。
異業種交流、人生経験豊富な会員の話を聞ける。
自分の人間形成に役立てる場にする。

11/12
(木)

●開始時間 18:00～ ●会場 阿井会員宅

●出席者 阿井会員・若木会員・海原会員・原田会員・吉田会員・大津会員・中川会員・西田会員

○会員増強の件

仲間を増やすためには、どのような事を行えば良いのだろう…

中央RCは、会員が辞めても、また会員が増える。特に若い会員が多い。

この件については、年会費の差の問題もあるのではないかな？

ちなみに、阿南RC 入会金¥50,000 年会費¥180,000

阿南中央RC 入会金¥50,000 年会費¥120,000

個人、個人の出席率をあまり厳しく言わない。4回連続で休んで、阿南RC会員を退会してもらった事もある。50周年の伝統を維持しながら、今の阿南RCの在り方に賛同してくれる新入会員増強に努めたい。支店長クラスの新規入会者がほしい。

○新規会員の発掘もいいですが、新会員にいかにか阿南RCになじんでもらうかが、大事なのではないのでしょうか？親睦の会や、地区大会等に、どんどん参加して、お互いの交友を深めてもらいたい。上記については、まずは参加してください。

○出席しないのに、なんで、メンバーなの？

会費会員は、今の御時世、非常にありがたい存在です。(オフレコ)

阿南RCクラブのメンバー(バッチ)のメリット

メーキャップもメリット

メーキャップも、「共に楽しむ仲間を増やすために」にあてはまります。

たとえば、萩原パストガバナーが、東京のメーキャップで、松下幸之助氏の横の席等々…後は、座談等で時間を費やしました。

結びに、阿井会員・御家族様…売るほどのビール??等の御接待ありがとうございました。

11/13
(金)

●開始時間 18:00～ ●会場 谷会員宅

●出席者 谷会員・平野会員・湯浅会員・植田会員・守野会員・吉岡会員・六車会員・高井会員
田村会員・大上さん

11月13日18:00より谷会員宅にて行われました家庭集会のご報告をいたします。
出席者は平野会員、湯浅会員、植田会員、守野会員、吉岡会員、六車会員、高井会員、大上さん、私田村で10名の参加で行われました。

先日、谷会員からご報告がありましたように、たいへんおめでたい受賞スピーチからはじまりました。多年にわたり自動車運送業に従事され業界の発展にご尽力されました功績に対しての受賞とのことでした。誠にありがとうございます。私は日本国天皇という文字の書かれた賞状にふれたのははじめてでしたのでたいへん感動いたしました。平野議長の進行で一気に盛り上がる中、集会課題の「共に楽しむ仲間をふやすために」のテーマについて、話し合われました。

○67～68人いた会員から現在の人数はたいへん寂しい。

○入会など、時代にあった規定に見直しが必要なのではないだろうか。

○阿南市近辺にはロータリークラブが3拠点、ライオンズクラブが3拠点、この中で会員増強は難しいのでは。

○どうせならロータリー3、ライオンズ3、同じ志なのだから統合したらどうですか。

○有名な会社、年商の多い会社、有名な人だけの集まりなのではないでしょうか。そういう方でないと入会できないのでしょうか。

○退会された会員の退会理由を知る必要があると思います。

○視野を広げ自分の器をひろげたい。という私の入会動機でした。

○例会に出席は義務ではありますが、出席出席ばかりではどうかと思う。

○我がクラブは年齢も熟年でどっしりとして異業種の人たちと話し合える良さがある。

○まず世間的、常識のおつきあいで包容力のある会であってほしい。

○入会時にはとても緊張したものでした。

○オブザーバー例会はとてもよい企画だが、だれでもつれていけないという気持ちです。

○数ではないと思う。会員自身クラブのよさを人に話せるものがあればよい。

○ロータリーの常識でなく常識のロータリーであってほしい。

まとめればまとめるほど枝葉がなくなって骨だけになりました。どうもすみません。

皆さんの活発な意見がどんどんでましたもので記録しきれなかったところも多々ございますし、また少し編集に誤りもあるかと思いますが、お許しください。後日訂正させていただきます。

あっというまに時間オーバーになりました。会場提供いただきました谷会員さんありがとうございました。たくさんのお料理からお酒、ワイン、ビールとおいしくいただきました。またご家族娘さんやお孫さんまでお接待いただきましてありがとうございました。お礼をもうしあげます。



1/13(水) * * * * *

県南5クラブ 新年賀詞交換会

年に1度、県南のロータリークラブが一同に集い、小松島・おがわにて開催されました。

合同例会、ゴルフ等他のクラブの会員と顔を合わす機会は何度かありますが100余名の会員が一同に揃うのはI.M、地区大会を除いてこの会が唯一です。懇親会では各クラブのメンバーが積極的に親交を深め、交流をはかっている様子がかがわれました。こういう企画が続くことを祈ります。



2009-2010 今後の予定

- 2/7(日) 谷 敬二氏
黄綬褒章受章記念ゴルフ
- 2/16(火) 創立記念例会
- 2/21(日) 谷 敬二氏
黄綬褒章受章祝賀会 (ホテル石松)
- 2/27(土) I.M 大塚国際美術館 (鳴門RC)
- 3/6(土)・7(日) 伊根の舟屋・天橋立
1泊親睦旅行
- 3/13(土)・14(日) 地区大会 (高知)



伊根の舟屋



大塚国際美術館



天橋立

2009

親睦旅行



秋の日帰り旅行を終えて 親睦委員長 吉田忠彦

11月1日(日)午前7時5分前には予定の全員が合同庁舎前に集合し、予定を少々早めて室戸へ向けて出発した。天気予報を疑うような好天で、楽しい1日を誰もが疑わなかった。途中バス酔いの心配があり薬を求めて、日和佐のコンビニでトイレ休憩をかねて止まるなどしながら、海南で中島さんを迎え予定の会員14名・家族4名・子供2名が集まり、守野幹事の挨拶で本格的に1日のスタートを切った。



▲ 中岡慎太郎生誕の地



▲ 岩崎弥太郎の生家

最初の観光地は字を見ても読めない覚えれない「御厨人窟」で、室戸の弘法大師像の近くにあり、洞穴へ入ったり写真を撮ったりして楽しんだ。このころより空が暗くなりかけ、バスを「中岡慎太郎」記念館へ走らす途中から雨が降ってきた。雨の中、目的地に到着したが記念館は閉館中とのことで生家を見学することにした。雨の坂道を下る途中A氏が足を滑らせて転倒するなどハプニングがあった。次は、近くにある「モネの里」での睡蓮の散策と昼食であったが、このころは好天転じて荒天となり、大雨の中びしょ濡れになりながら池の周りを歩いた。昼食をとり、土産物をあさった後、「岩崎弥太郎の生家」へ向かった。昼食の後で多くの人やすやすやお休みであった。

この後、土産物を探すため2箇所の店により、最後の楽しみ「穴喰温泉」へ向かった。約1時間温泉を楽しみバスは予定の19時前に合同庁舎前に到着した。

この旅の、計画から昼食の心配等全てにわたって中川秀治会員にお世話になりました。また、飲み物からおやつ準備は阿井淳次会員にお世話になりました。それから、兼松会長からビール・庄野会員から竹輪・谷会員からイチジクの差し入れをいただきました。

多くの人々にお世話をいただき、参加者20人楽しく1日を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



阿南ロータリークラブ35代会長
加茂谷運送(株) 代表取締役会長

谷 敬 二 氏

黄綬褒章受章

黄綬褒章受章おめでとうございます。

心よりお慶び申し上げますとともに今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。

祝 黄綬褒章受章

谷 敬二氏は1956年（S31年）に加茂谷運送を創立、安全・確実・迅速を基本理念に輸送から保管にいたるまで、あらゆる物流のニーズに応え、現在では140余台のトラックを保有する地場有数の会社に成長させ、徳島県トラック協会、阿南輸送共同組合の理事を務め、運送従事者の厚生年金基金の設立や中小事業者の経営の合理化に向けた共同配車の推進など、長年にわたり業界の発展に尽力されました。



「褒章を今後の励みにしたい」と喜びを語る谷さん
 「阿南市根町の加茂谷運送」
 「褒章の栄冠を、今後「運送業は輸送を通じた功にしたい」。徳島で、農林水産業や地産地消、トラック業者阿南輸送業と地域経済を支える送協同組合の理事を務め、存任でも、壁を突破、運送従事者の厚生年、肩が欠かせない」と力を金基金の設立や、中小事 込める。
 業者の経営の合理化に向 一方で、不況や燃料代けた共同配車の推進な の高騰や業界の競争が激 しくなっており、過酷な や不正労働時間を延ばす などの違法行為を許さず 送「阿南市」を設立、1 40台余のトラックを持 「業界の発展のために つ地場では有数の会社にも、悪徳業者を排除する 成長させた。運送を血管 規制強化も訴えていきたく ずれば、物質は血脈」。



道二筋社会に貢献
 運送業発展に尽くす
 黄綬褒章（自動車運送業業務精励）
 谷 敬二さん（83）

2009年11月2日(月) 徳島新聞掲載

阿南ロータリー
 俳句会



家々に歴史のありて雑煮かな

大上季美子

通さねばならぬ意気あり懐手

神原 鹿山

秒殺の竹刀が撓る寒稽古

清原 眞治

健やかに老のめでたき雑煮餅

品川 重晴

折り目ある日の丸を背に年賀式

藤崎 稔

城山のカラクリ時計日脚伸ぶ

石澤 三朗